

2 新米を
ぜひに



子ども食堂へみらい米を寄贈

7月17日と21日、「社会福祉法人睦会」「特定非営利活動法人くろいし」「いしかわ昼食提供プロジェクト実行委員会」「社会福祉法人板柳町社会福祉協議会」の4団体へ「みらい米」を寄贈しました。

提供した食材は孤食の解消や地域交流の場として親しまれている「子ども食堂」で活用されます。

贈呈式で奈良寧組合長は「農家の皆さんが丹精込めて作ったお米を大切に味わって食べていただければと思います」とあいさつしました。

当JAでは引き続き、食育活動や食材の提供を通じて、地域に根差した活動に取り組んでまいります。



特定非営利活動法人くろいし(右)へみらい米を寄贈する奈良組合長



社会福祉法人睦会(右)へみらい米を寄贈する奈良組合長



社会福祉法人板柳町社会福祉協議会(右)へみらい米を寄贈する奈良組合長



いしかわ昼食提供プロジェクト実行委員会(右)へみらい米を寄贈する吹田定義常務(営農購買担当)

8 新米が
いよいよ



青森県営農大学校の学生が施設見学

7月23日、青森県営農大学校の学生35人が当JAの施設見学を行いました。

学生らは黒石青果センター、平川カントリーエレベーター、産直センターひらか、本店、サンフェスタいしかわを見学しました。

施設見学に加え、JA青森中央会による農協全体の説明のほか、当JA職員が管内農業の概要や取り組み、業務内容について紹介しました。

また、学生と当JA職員による意見交換会も実施しました。「なぜ津軽みらいに就職したの?」「仕事の中で大変なことは?」など、たくさん質問が寄せられ、職員は自身の経験を交えて回答しました。



平川カントリーエレベーター内を見学する学生



意見交換会を行う学生とJA職員



学生へ津軽みらいの概要を説明するJA職員